

脆弱性スキャナの性能評価手法の改善

An Improvement of Vulnerability Scanner Performance Evaluation Methodology

中村裕太・システム分科会・情報セキュリティ大学院大学

■ 研究背景

- Webアプリケーションの脆弱性は日々発見されており、早期発見・対処が重要である
- 脆弱性の早期発見・対処に貢献する脆弱性スキャナが必要となる

■ 先行研究・課題

- 性能評価はベンチマークに対する脆弱性スキャン結果の比較が中心
- 評価対象の脆弱性や、評価の観点・項目は先行研究により異なる
- 実行結果の単純比較が多く、スキャンの精度・速度に影響を及ぼす要素が分かりにくい
(要素が分からない場合、環境等で性能が上下し、事前の評価通りとならないことが懸念される)

■ 研究計画

脆弱性スキャナ(※)の性能評価に関する調査結果を踏まえ、以下の研究を実施する。

(※Webアプリの脆弱性を動的に検出するツール)

- 脆弱性スキャナの精度・速度に関する評価手法を改善する
- 新しい評価手法を提案し、実際に性能評価を行う

既存の評価手法の改善と新しい評価手法の提案により、脆弱性スキャナの選定に貢献する。